

K A K E G A W A

かけがわ 第30号

市議会  
だより

平成23年5月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

新入生元気に登校(和田岡地区)

## おもな内容

## CONTENTS

- 平成23年度当初予算概要 2ページ
- 一年の議会を振り返って 3ページ
- 特別委員会委員長報告 4ページ
- 一般質問 6ページ
- 傍聴席/6月定例会の予定 12ページ

# 2 月 定 例 会

## 平成 23 年度の計画・予算が決まりました

2月定例会では、23年度の施政方針が示され、施策・予算等の重要案件について、各常任委員会・本会議・一般質問等で論議・審議され、原案のとおり可決されました。



### ◆交わされた主な内容・論点は

#### ❶「希望がみえるまち、誰もが住みたくなるまち」の実現に向けて

- ①健康医療日本一について（関連予算：38.5 億円）  
地域健康医療支援センター（ふくしあ）の設置（2カ所）・運営を推進する ほか
- ②環境日本一について（関連予算：34.4 億円）  
太陽光発電施設の設置と水質浄化・ごみ減量を推進する ほか
- ③市民活動日本一について（関連予算：2.8 億円）  
自治基本条例の策定と市民との協働によるまちづくりを推進する ほか

#### ❷ 新病院建設と関連事業

#### ❸ 強い農業づくりとお茶のまち掛川の確立

#### ❹ 少子高齢化対策と障害者福祉

#### ❺ 質の高い教育に向けて

#### ❻ 一般会計・国民健康保険等財政の健全化

\_\_\_\_\_ 等であります。

### ◆可決された平成 23 年度の各種会計予算は次のとおりです。

| 会 計 区 分 |              | 23 年度 (千円) | 22 年度当初 (千円) | 増減率 (%) |
|---------|--------------|------------|--------------|---------|
| 一般会計    |              | 41,980,000 | 40,700,000   | 3.1     |
| 特 別 会 計 | 国民健康保険       | 10,664,506 | 10,072,080   | 5.9     |
|         | 後期高齢者医療保険    | 922,719    | 1,008,589    | △ 8.5   |
|         | 介護保険         | 7,882,376  | 7,387,891    | 6.7     |
|         | 公共下水道事業      | 2,575,811  | 2,372,427    | 8.6     |
|         | 農業集落排水事業     | 226,624    | 229,305      | △ 1.2   |
|         | 浄化槽市町村設置推進事業 | 336,359    | 228,802      | 47.0    |
|         | その他の会計       | 520,439    | 683,003      | △ 23.8  |
|         | 計            | 23,128,834 | 21,982,097   | 5.2     |
| 企 業 会 計 | 病院事業         | 8,894,759  | 9,845,842    | △ 9.7   |
|         | 水道事業         | 3,988,134  | 4,411,126    | △ 9.6   |
|         | 計            | 12,882,893 | 14,256,968   | △ 9.6   |
| 合 計     |              | 77,991,727 | 76,939,065   | 1.4     |

## 23 年度は、借金は減少・貯金も減少

※ 23年度末の一般会計地方債残高（見込額・借金）は、465.8 億円となり、22年度末残高（見込額）に比べ 4.3 億円の減少（改善）の見込みです。

※ 23年度末の財政調整基金残高（見込額・貯金）は、31.7 億円となり、22年度末（見込額）に比べ 4.0 億円の減少の見込みです。

## 一年の議会を振り返って

議長 加藤 一司

東日本大震災で被災された皆様  
方に対し、心からお見舞い申し上  
げます。

二十二年度は、地方分権の時代  
にあつて、当市議会においても議  
会改革検討特別委員会を設置し、  
「開かれた議会」「市民に親しまれ  
る議会」を目指し、議会基本条例  
や一問一答制等について検討して  
きました。新病院建設については、  
安心安全な医療の提供ができるよ  
う特別委員会での議論を深め、平  
成二十五年の開院に向けて順調に  
進むことができ、安堵しておりま  
す。また、新年度の予算は、厳し  
い財政状況の中、四百二十億円の  
予算編成が行われ、日本一のまち  
づくりの実現に市当局と共に尽力  
してまいります。市民皆様の一層  
の御協力を賜りますようお願い申  
し上げます。

## 2月定例会における議案の審議結果（主なもの）

| 議 案 名 |                                        | 議 決 内 容 |
|-------|----------------------------------------|---------|
| 予 算   | 平成 23 年度一般会計予算                         | 賛成多数可決  |
|       | 平成 23 年度国民健康保険特別会計予算                   | 賛成多数可決  |
|       | 平成 23 年度後期高齢者医療保険特別会計予算                | 賛成多数可決  |
|       | 平成 23 年度介護保険特別会計予算                     | 賛成多数可決  |
|       | 平成 23 年度財産区特別会計予算〔上西郷、桜木、東山、佐束〕        | 全会一致可決  |
|       | 平成 23 年度病院事業会計予算                       | 賛成多数可決  |
|       | 平成 23 年度水道事業会計予算                       | 賛成多数可決  |
|       | 平成 22 年度一般会計補正予算（第4号）                  | 全会一致可決  |
|       | 平成 22 年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）            | 全会一致可決  |
|       | 平成 22 年度老人保健特別会計補正予算（第2号）              | 全会一致可決  |
|       | 平成 22 年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）         | 全会一致可決  |
|       | 平成 22 年度介護保険特別会計補正予算（第3号）              | 全会一致可決  |
| 条 例   | 掛川市医師修学資金貸与条例の制定について                   | 全会一致可決  |
|       | 掛川市看護師等修学資金貸与条例の制定について                 | 全会一致可決  |
|       | 掛川市情報公開条例の一部改正について                     | 全会一致可決  |
|       | 掛川市職員の給与に関する条例の一部改正について                | 全会一致可決  |
|       | 掛川市国民健康保険条例の一部改正について                   | 賛成多数可決  |
|       | 掛川市国民健康保険税条例の一部改正について                  | 賛成多数可決  |
|       | 掛川市語学指導等を行う外国人である職員の給料等に関する条例の一部改正について | 全会一致可決  |
|       | 掛川市消防団条例の一部改正について                      | 全会一致可決  |
| 一 般   | 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市茶室）他 11 件         | 全会一致可決  |
|       | 姉妹都市の提携について                            | 全会一致可決  |
| 人 事   | 掛川市副市長の選任について                          | 全会一致同意  |
|       | 掛川市教育委員会委員の任命について                      | 全会一致同意  |
|       | 掛川市外3組合公平委員会委員の選任について                  | 全会一致同意  |
|       | 掛川市固定資産評価審査委員会委員の選任について                | 全会一致同意  |
| 意見書   | 「環太平洋連携協定（TPP）への対応に関する意見書」の提出について      | 全会一致可決  |
| 請 願   | 消費税率の引き上げに反対する意見書の提出をもとめる請願書           | 賛成少数不採択 |
| 陳 情   | 公契約条例制定を求める陳情書                         | 継 続 審 査 |



# 特別委員会委員長報告

特定の案件を審査するために設置された特別委員会は、それぞれのテーマに基づき、一年間施策の検討を行ってきました。  
2月定例会において、検討内容や提言について、各委員長から報告がありましたので、要旨を掲載いたします。

## 新病院建設・

## 地域医療

## 対策特別委員会

委員長 堀内 武治

掛川市・袋井市新病院建設事業は、中東遠地域の地域医療を確保し、市民が心から信頼することのできる医療を提供する拠点病院を建設する大きな事業であります。

「新病院建設・地域医療対策特別委員会」は、この掛川市にとって当面の最大の事業を必ず成功させるために、議会として、新病院建設事業の刻々と進む状況にかみ合わせ、事業内容をチェックし、監視し建設に合わせ、ハード・ソフト両面にわたり、市民の声を反映させるために設置された全議員で構成する重要な委員会です。

平成二十二年度は、新病院基本構想・基本計画を受けての建設基本設計・

実施設計の提示を受け協議・審査を進め、これを承認し骨格を決定しました。その他多くの問題についても方向付けをしました。以下主要課題について記します。

一・基本設計・実施設計を協議し、承認をしました。病床数五百床、一日あたり外来患者数千二百人、診療科目三十二科、八階建て、延べ床面積三千六百六十七平方メートルの病院となります。

二・新病院建設用地は掛川市土地開発公社が造成し、全体面積三十六・九〇ヘクタールのうち、約三分の一、十三・七二ヘクタールが病院用地、残り約三分の二、二十三・一八ヘクタールが工業用地となることを確認しました。

三・新病院のアクセス道路は居沼池西線、高御所久保線、掛川袋井南

線、富士見台公園北線の四路線となりますが、両市の負担のあり方については、袋井市側の意向を踏まえ問題の生じないよう対処しました。

四・新病院建設に伴う現病院の清算見込みについては、約四十二億六千万円が必要と明らかになりました。

五・在宅医療のあり方に



については「ふくしあ」を中心に協議し、新病院開院までに市内五カ所に設置するとなりました。

## 議会改革検討 特別委員会

委員長 竹嶋 善彦

地方分権時代の到来で、住民代表の機関である議会が住民にとって身近な存在となり、透明で開かれた議会を目指すことが強く求められています。議会改革検討特別委員会では、住民自治の根幹としてその機能を果たすため「市民と歩む議会」を目指し議会運営や議会のあり方について、調査・研究を重ねてきました。

十一月には、山梨学院大学教授 江藤俊昭先生の講演会を開催し、議会改革や議会基本条例の必要性について研修しまし

た。議会が執行機関の追認機関にならないように議会の監視機能や政策提言などに主導権を発揮し、住民から信頼される存在となっていかなければなりません。議員は自己の資質を高め、議会と議員の役割・責務、住民参加の拡大、首長との緊張関係の維持、議員間討議の推進など明確にし、議事機関としての役割を果たすことであります。

当委員会では、これまでの検討を踏まえ、以下六項目を提言します。

- 一、議会基本条例については、二十三年度、制定を目的とした「議会基本条例制定特別委員会」の設置をすること
- 二、一般質問における一問一答制については、平成二十三年六月定例会から導入すること
- 三、政策立案能力の向上のため、専門的知見の活用が可能な予算確保や事務局体制の充実を

図ること

四、議員定数については、次期改選期も二十四人を定数とすること

五、議長の任期は二年が望ましい。次期改選期までに検討し反映させること

六、議長交際費・政務調査

費の使途と金額を市のホームページ上で公開し、今後も適正な使途と透明性を確保した情報公開をしていくこと

## 産業振興 特別委員会

委員長 大石與志登

本特別委員会は、産業が低迷し、雇用の悪化が続いている中で、「農・工・商」の連携と観光の推進など、産業の活性化に向けての調査研究を行っていくために設置されました。九回にわたる委員会を開催するとともに先進地での研修等も行い、本市産業活性化のためのあるべき方向について議論を重ねてまいりました。

農業、工業、商業、観光そして農商工連携の各分野にわたり、前向きで積極的な意見、従来の発

想にとらわれない斬新な意見等、数多くの闊達な意見が出され、中でも農業分野においては、T P P問題も含め伯仲した議論が展開されたところがあります。誌面の都合上、意見の一つ一つを載せることができませんが、それらの意見を集約した中で、次の三項目にわたる提言を行いました。

- 一、市役所組織の機構改革を行い、産業経済分野を強化すること
- 二、企業誘致を最重要施策として位置づけ、全庁体制で推進すること
- 三、農商工連携を重要施策として推進すること

最後に、「多様な産業が調和しながら発展し、市民が豊かに暮らせるまち」を築くためには、何事にも熱意を持つて取り組むとともに、即座に対応できる体制の構築も必要であります。今後は、T P

Pへの問題も視野に入れ、あらゆる問題・課題の解決策、対応策について議論を深め、市民・企業・議会・行政が一体となつて取り組んでいかなければならないと考えております。





# 一般質問 Q&A

## 駅前再開発事業への補助金支出、その条件とは

大石與志登（創世会）

**Q** 市街地再開発ビル  
の経営は、全国的にも非  
常に厳しく、成功例はほとん  
ど無い状況の中で、安全安心  
な事業計画が示されれば、補  
助金の支出をすると言言され  
ているが、具体的にどのよう  
な条件が整えば、安全安心と  
考えられるのかを伺う。また、  
同ビル内に計画がある市民交  
流センターは、民間力の活用  
も含め、再度最善の活用策を  
検討すべきと考えるが、市長  
の見解を伺う。

**A** 組合員の姿勢、  
保留床の売却、  
経営収支計画の成立

安全安心と考えられる条件  
の一つ目には、全ての組合員  
が主体となって事業に取り組  
むという姿勢。二つ目には、  
事業費を回収するために保留  
床として売り出す住宅、商業  
施設、駐車場の床が確実に売  
却できること。三つ目は、弥  
栄かけがわ株式会社の中長期  
的な経営収支計画の成立であ  
る。



駅前東街区市街地再開発ビルイメージ図

また、市民交流センターの  
件は、地方都市における成功  
事例が少ないという点で、各  
方面から意見をいただいてお  
り、いま一度ゼロベースでの  
再検討が必要であると考えて  
いる。施設内容を含め幅広く  
検討し、方向性が固まり次  
第、改めて予算計上をしたい  
と思っている。

【他の質問事項】財政健全化に  
ついて、地震防災対策について

## 「ためしてガッテン」効果の継続の方策は

山崎恒男（創世会）

**Q** 掛川の深蒸し茶の効  
能を追求し、実証する  
ため、平成二十三年度が最終  
となる「掛川スタディ」の研  
究を継続する必要があると思  
うが、市長の見解を伺う。

**A** 主要研究として位置づ  
け、推進していくこと  
が重要

「掛川スタディ」は、平成  
二十四年度以降も引き続き栗  
山教授を中心とした現行の体  
制を維持しながら、県西部地  
域までのフィールド拡大を視  
野に入れて、継続していきた  
いと考えており、その財源を  
確保するため、現在、国・県  
と協議を進めている。

## 企業誘致活動に、 市長の トップセールスを

**Q** 市長のトップセール  
スが、企業側に対する  
熱意と信頼が得られる要因に  
なると思うが、市長自身トッ  
プセールスを展開することに

ついて、考えを伺う。

**A** これまで以上に取り組  
んでいく

行政運営の考え方、長期ビ  
ジョン、企業誘致の位置づけ  
などは政治的な部分もあり、  
私が直接お会いすることによ  
り、熱意や信頼感とともに御  
理解いただけたと思う。今後  
もこれまでに以上にトップセー  
ルスに取り組んでいきたいと  
考えている。

【他の質問事項】小笠山総合運  
動公園エコパに県営野球場の設  
置を、地域健康医療支援セン  
ター「ふくしあ」の現状と今後



完成した第2エコポリス（東山口地内）

# 一般質問

## Q&A



食育教育

### 食育推進計画の推進状況と今後の重点施策は

栗原通泰（三和会）

**Q** 食育基本法制定から三年経過し、食による健康日本一を目指していくためにも本市における食育推進計画の推進状況と今後の重点施策を伺う。

**A** 生活習慣病の増加や健康障害への対応が重要

計画の推進状況は、学校給食における地場産品を使用する割合が目標値三十%以上に對し五十二・一%、メタボリックシンドロームを認知している人の割合は目標値八十%に對し九十八%と上昇している。

生活習慣病予防や健康維持につながる食生活が身につけられるよう市民協働の食育推進に努めていく。

### 子宮頸がんの予防接種の実施方法と接種者への指導は

**Q** 子宮頸がん予防接種実施にあたり、その実施内容や方法と接種対象者（保護者含む）への周知、指導はどのように取り組んでいくのか伺う。

**A** 個別通知により丁寧に周知していく

個別通知により、子宮頸がんの疾病やワクチン接種、検診の必要性を周知していく。さらに予防接種法に基づかない任意の予防接種であり、強制接種ではなく希望者に対して実施するものであることを明記した文書を送付する。

### 「掛川スタディ」は継続すべきである。今後の見解は

榛葉正樹（みどりの会）

**Q** 農林水産省の委託研究である緑茶生活習慣予防研究「掛川スタディ」が今年で最終年となる。平成二十三年以降も研究を継続し、国・県を巻き込んで緑茶の効能を世界に発信すべきと考えているが、見解を伺う。

**A** 研究の成果を積極的に情報発信する

東北大学、野菜茶業研究所、九州大学でも別の角度から緑茶の研究を並行して行っている。新たな研究成果が示されたところで、随時、市民の健康増進施策への取り組みを図っていく。



歴史文化ゾーンにおける大日本報徳社

### 報徳のまちづくり、若い世代への報徳思想の普及は

**Q** 「報徳のまち掛川」の拠点として大日本報徳社を有する歴史文化ゾーンを生かしたまちづくりをどう考えるか。また、若い世代に普及させるには現代にあった新解釈が必要であると考えますが、見解を伺う。

**A** 組織的な取り組みを行っていくことが理想と考えている

市行政と大日本報徳社が連携を図り、情報発信の基地としての役割、歴史文化ゾーンの一 corner を担う文化活動拠点としての役割、また、観光資源としての役割を果たしていただきたいと考えている。若い世代に普及させるため、子供のころから報徳に親しんでもらうよう、社会科副読本や掛川の偉人伝を発刊している。また、報徳社ではホームページの充実も図っている。



# 一般質問 Q&A

## 地域の担い手建設業者の衰退を伺う

山本行男（公明党かけがわ）

**Q** 土砂の除去など地域の災害復旧を担う建設業者が、長年の不況で疲弊している。自治体と災害協定書を結ぶ業者はこの十年で三分

の二に激減、災害活動に必要な重機を自社で保有する業者も減っている。市内業者の災害対応力を伺う。

**A** きめ細かな予算配分で努力していく

「地域を守るためには地元建設業が不可欠である」ことを肝に銘じ、契約方法も工夫し、経営強化を図れる努力をしていく。

災害時における応急対策に関する協定締結により、災害が発生した場合には、早急に連絡を取り合うことになっている。

## 地デジ移行への対応を伺う

**Q** 地デジ普及の現状と難視聴対策の進捗状況及び低所得者への取り組みと高齢世帯へのサポート体制を伺う。

**A** 相談・サポートコーナーを設置し、随時相談に応じる

進捗状況については、八十六カ所の共同受信施設のうち八十カ所において地デジ化が完了、または撤去済みとなっている。低所得世帯への取り組みとしては、支援制度の申請手続をされていない世帯に対し、周知を図るとともに市職員による戸別訪問等を実施している。高齢者世帯への取り組みとしては、デジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）等への電話相談に加え、市職員による戸別訪問、電話聞き取り等を実施していく。

【他の質問事項】子ども手当について



リース会社と災害協定を！

## 「市民大学校」を

## 「まちづくり塾」と改名した理由と目的は

草賀章吉（創世会）

**Q** 生涯学習とは一人一人が自己の生きがいや生活の向上を目指し、自分にもっとも適した方法で生涯にわたり自発的に行う学習活動であると考ええる。市の中核的学習機関をまちづくり塾とすることは生涯学習という理念からするとコンセプトが狭くなると思われるが伺う。

**A** 補助事業による財政支援をしていく

**Q** 市民活動は市民が発的に行う活動である。その支援施策としてどのようなことを実施するか伺う。

**A** 補助事業による財政支援をしていく

市との協働事業により市民活動団体の育成を支援する「掛川市市民活動推進モデル事業」を、より行政との協働が行われやすい補助事業に改編し支援していく。

【他の質問事項】六十歳年輪の集いについて

新年度のカリキュラム編成に当たり、一般教養的な講座を減らし、まちづくりに貢献できる人材の育成をより強化している。これからのまちづくりにおける基本的な理念と生涯学習によるまちづくりの理念とは、異なるものではなく、しっかりと通じているものだと考えている。



生涯学習は市の基本理念



# 一般質問 Q&A



奥州市との物産交流

## 今、掛川市立総合病院に 求められているものは

中上 禮一（みどりの会）

Q

市立病院で大切なことは、医療従事者の満足度の向上と患者の心に添った温かな医療、優しい医療だと言われている。これらを実現するためには、経営環境の改善や職員の心の持ち方をいかに改善し士気を高めていくかが大きな課題であると思う。また、5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）活動を実施して職員のモチベーションの向上などに努めているということだが、その成果を伺う。

A

「愛365日」の医療サービスを日々実行すること

医療従事者は、多種多様な臨床経験を豊富に積むことでモチベーションが高まってくる。しかし、現在、医師の不足により一部診療科において患者さんを十分受け入れられない状況であるので、職員のモチベーション維持及び人材育成の観点からも、医師確保が急務であると認識している。

5S活動の取り組みの効果としては、自分たちの行動が職場を変えたことに職員の多くが誇りと充実感を感じ、良好な職場環境の改善と業務の効率化に向けた意識の高揚が図られた。また、経営改善の効果としては、導入後、時間外勤務時間数の減少や診療材料費の減額となっている。

【他の質問事項】奥州市との姉妹都市交流について、ネットいじめについて

## 緊急の経済対策として 「住宅リフォーム助成」は

川瀬 守弘（共産党掛川市議員）

Q

内需拡大と地域振興が結びついた「住宅リフォーム助成制度」が全国の自治体で広がっている。この制度は長引く不況のなか、住民の要求にこたえ、仕事興しとなる。「助成制度」について見解を伺う。

A

既存の各種制度の普及啓発に努めていく

現在の市の厳しい状況では、本制度の創設は困難であると考え、新年度予算への盛り込みはしていない。

## 東海地震に備え、学校施設の耐震化は急務と考えるが



広域避難所になる城北小

Q

東海地震に備え家具の転倒防止、住宅・ライフラインの耐震化が必要である。木造住宅耐震化促進とともに「広域避難所」となる学校施設の耐震化は急務と考えるが、見解を伺う。

A

順次耐震補強等の耐震化を図っていく予定

家具の転倒防止対策については、平成十四年度から実施している。また、既存木造住宅の耐震化については、高水準の現行助成制度を継続していく。

学校施設は、国基準の耐震化を図ったが、県基準に準拠した市の耐震改修促進計画により、今後順次耐震化を行っていく。

【他の質問事項】学童保育の設備改善・施設改良について、市立病院と地域医療の課題について、浜岡原発五号機の運転再開と浜岡原子力発電所安全等対策協議会について

# 一般質問 Q&A

## 都市計画税、さらに見直しを

柴田 正美（共産党掛川市議員）

**Q** 辺地について、過去「より受益がある」と答弁している。今回は「全く受益がないから見直す」と言っている。百八十度違う見解であるが矛盾してないか伺う。

**A** 矛盾ではない

都市計画税見直し懇話会の答申を踏まえ、除外するかどうかを決定したものである。

## 厳しい財政状況に どう対処するのか

**Q** 病院の流動比率が異常に低く、八十二・五％で不良債権が発生している。袋井は同じ赤字でも五百九十一％である。少ない一般会計繰入金を同

規模病院並みにすべきではないか。現病院の清算にかかわる費用、財団法人掛川市開発公社の解散に伴う損失額と費用はいくらか、どう対処するか伺う。

**A** 不足額については基金の積み増し等を検討している

現病院の清算に必要な費用は、現在四十二億六千万円程度と試算しており、清算するための財源としては、病院所有資産の売却代金及び掛川市財政調整基金等の活用を考えている。

財団法人掛川市開発公社解散に伴う損失額と費用は、処分する土地の評価の減少に伴う損失補てんに約三億三千万円、掛川市が買い戻すのに必要な費用に十五億五千万円と試算しており、財政健全化基金と公社の内部留保金を充当する予定でいる。



同じ地域なのに課税と非課税  
(掛川と菊川の市境)

【他の質問事項】国保税引き上げ回避を、市長の政治姿勢について  
※「流動比率」とは、企業の一年以内の収支倍率を表す数値である。一般に100％以上であれば、一年以内に支払不能になる可能性が低いことを意味している。

## 国民健康保険の財政健全化をするため 何をすべきか

大庭 博雄（誠和会）

**Q** 我が国は、国民皆保険で国民の医療の安全が守られているが、国民健康保険税の負担も重い。市民の医療の安全を守り、財政健全化を進めるため、市として何をすべきか。医療費削減の方策として、ジェネリック医薬品の採用促進を進めたらどうか。

**A** 特定検診等の受診率向上、国保税の収納率向上を図る

国保会計健全化のため、特定検診や人間ドックの受診率向上促進、国保税収納率の向上を図っていく。



四月から新しい指導要領により  
学校教育が充実する

ジェネリック医薬品の導入促進については、課題があるため、静岡県と国保連合会が県医師会と促進方法について調整中である。

## 学習指導要領の改訂で 学校教育はどのように 変わるか

**Q** 九年ぶりに学習指導要領が改訂され四月から新しい学校教育が始まる。小・中学校の教育内容がどのように変わるか。教育環境を向上するため市として何をするか。

**A** 思考力、判断力、表現力等の育成を重視する

質の高い教育を行うため、少人数教育が充実するよう、国に要望していく。また、学校サポーターの増員をお願いし、きめ細やかな指導の充実を努めていく。

【他の質問事項】消防の広域化について



# 一般質問 Q&A

## 学校規模の適正化と児童数確保は

鈴木久男（創世会）

**Q** 小学校はコミュニティの基礎単位。行政効率や教育目標からすれば一概にはいえないが、二十二校の小学校は地域の中心の場として、将来共に存続すべきと願っているが見解を伺う。

**A** 望ましい教育環境のあり方について検討をさせていただいている

基本的考え方は、小学校は一学年二学級から三学級、中学校は一学年三学級から五学級であり、地域住民の理解を得ながら検討していく。



卒業式の風景（佐束小にて）

## 地域活性化のための 土地利用計画は

**Q** 二〇一六年を目標とする総合計画の人口想定は十二万三千人。自然の動向に任せていたのでは目標達成は困難と思う。地域の魅力を創出し、土地利用を活性化しなくては増える要因はない。課題とされる農業振興策との調整をして、総合土地利用という理念を持った施策が必要と思うが、その方策について伺う。

**A** 「掛川市生涯学習まちづくり土地条例」を活用する

地域活性化の魅力創出には、地域の皆さんの創意工夫によるまちづくりが重要と考えている。各地域において行政と協働により魅力あるまちづくり計画を策定し、今後、都市計画マスタープランなどの諸計画に反映させていく。

【他の質問事項】公共施設の維持管理と管轄について

## 2月定例会の経過

|     |     |                                                                                                               |
|-----|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月  | 28日 | 本会議 市長施政方針、各議案提案理由説明及び補足説明                                                                                    |
| 3月  | 1日  | 本会議 各議案補足説明                                                                                                   |
| 4日  | 4日  | 本会議 平成二十二年<br>度補正予算関係議案等<br>質疑、一部議案採決、<br>常任委員会付託                                                             |
| 9日  | 9日  | 本会議 常任委員会委員<br>長報告（平成二十二<br>年度補正予算関係議案<br>等）質疑、討論、採決<br>特別委員会委員長報告<br>本会議 一般質問                                |
| 10日 | 10日 | 本会議 一般質問                                                                                                      |
| 11日 | 11日 | 本会議 平成二十三年<br>度予算及び条例関係議<br>案等質疑、常任委員会<br>付託                                                                  |
| 15日 | 15日 | 常任委員会 付託議案<br>審査                                                                                              |
| 23日 | 23日 | 本会議 常任委員会委員<br>長報告（平成二十三<br>年度予算及び条例関係<br>議案等）質疑、討論、<br>採決。（人事関係議案）<br>市長提案理由説明、採<br>決、議案提案（意見書）<br>採決、議員派遣採決 |

## 地震義援金を贈りました

掛川市議会では、東日本大震災の被災地に、各議員の私費から義援金 30 万円を全国市議会議長会を通じて日本赤十字社に贈りました。また、姉妹都市の岩手県奥州市には、議長が訪問し 30 万円を贈りました。



奥州市に見舞金をお届けしました

## 議 会 日 誌

### 1月

- 14日 ● 文教厚生委員会協議会
- 17日 ● 議会改革検討特別委員会
- 21日 ● 市議会全員協議会
  - 議会運営委員会
  - 議員懇談会
- 31日 ● 産業振興特別委員会

### 2月

- 1日 ● 東遠学園組合議会
- 3日 ● 静岡県市議会議長会
  - 定期総会（静岡市）
- 8日 ● 東遠広域施設組合議会

- 9日 ● 浅羽地域湛水防除施設組合議会
  - 太田川原野谷川治水水防組合議会
  - 全国市議会議長会評議員会（東京）
  - 総務委員会協議会
- 10日 ● 東海市議会議長会理事会
  - （岐阜県本巣市）
- 14日 ● 中東遠看護専門学校組合議会
- 15日 ● 小笠老人ホーム施設組合議会
- 16日 ● 新病院建設・地域医療対策
  - 特別委員会
- 18日 ● 市議会全員協議会
  - 産業振興特別委員会
- 21日 ● 議会運営委員会
  - 議員懇談会
  - 議会改革検討特別委員会
- 22日 ● 東遠地区聖苑組合議会
- 23日 ● 掛川市・袋井市新病院建設事務
  - 組合議会

- 24日 ● 掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 25日 ● 東遠工業用水道企業団議会
- 28日 ● 議員懇談会
- 28日～3月23日
  - 掛川市議会
    - 第1回（2月）定例会

### 3月

- 1日 ● 総務委員会現地視察
  - 新病院建設・地域医療
    - 対策特別委員会
- 3日 ● 議会だより編集特別委員会
- 9日 ● 議会運営委員会
- 14日 ● 市議会全員協議会
- 22日 ● 議会だより編集特別委員会
- 23日 ● 議員懇談会

### 4月

- 13日 ● 議会だより編集特別委員会

## 5月臨時会 6月定例会 の予定

### 【5月】

- 16日 臨時会（議会構成等）

### 【6月】

- 13日 本会議（議案の提案説明）
- 21日 本会議（一般質問）
- 22日 本会議（一般質問）
- 23日 本会議
  - （議案質疑、委員会付託）
  - 常任委員会
- 27日 企業会計決算特別委員会

### 【7月】

- 4日 本会議
  - （委員長報告、質疑、討論、採決）

## 傍 聴 席

三月十日の掛川市議会定例会、一般質問を傍聴、議会の中では掛川スタディ、緑茶コホー研究中の掛川について議論が交わされましたが、これは農林水産省の委託を受け、国内はもとより世界の人の健康増進と茶業振興を目的として進めています。「今年三月目（二十四年三月まで）で国からの援助が切れ」今後の継続が難しく市も財政難のため「県の力もお借りしたい」との話がされましたが、さらに継続の方向で頑張っていたかと思いましたが、中山鋭吉（成瀬）

今回久しぶりに傍聴し傍聴参加者の少なさには驚きました。席に座り見渡すと自分を含め四人、一時間後に十人、インターネット利用者もいると思いますが、議会事務局に問い合わせしたところ「二日目、四十五日、二日目、二十五人で、いつもは二日間、二百人くらいですが今回は少ないですね」と言われました。

「今年三月目（二十四年三月まで）で国からの援助が切れ」今後の継続が難しく市も財政難のため「県の力もお借りしたい」との話がされましたが、さらに継続の方向で頑張っていたかと思いましたが、中山鋭吉（成瀬）

## 編 集 後 記

三月十一日午後二時四十六分までのことが起こりました。東日本大震災は地震と津波、そして原発からの災害で終わりが見えません。命を奪われた方々の御冥福をお祈りし、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

この時、市議会では、二月定例会で一般質問中でした。大きく、長い間揺れ、いつもの地震とは何か違うと感じました。この震災で、三陸沿岸では今まで培った人・もの・地域社会等すべてが失われました。そして、高度技術国家としての日本に対する世界からの信頼も揺らいでいます。今こそ日本全体が一つになってこの未曾有の事態に立ち向かっていかなくてはなりません。

この委員会では、皆さんからの御意見もいただき、多くの皆さんに読んでもらえるよう臨場感ある「議会だより」を目指して活動して参りました。一年間、ご愛読ありがとうございました。

### ● 議会だより編集特別委員会

大庭 博雄（委員長）  
鈴木 久男（副委員長）  
山崎 恵司  
鈴木 正治  
川瀬 守弘  
山崎 恒男  
山本 行男  
榛葉 正樹